



公立大学法人富山県立大学

富山県立大学

担当：看護学部老年看護学講座

准教授 青柳 寿弥

電話：076-464-5410（内線 867）

メール：dlbsn-toyama@pu-toyama.ac.jp

News Release

令和 6 年 7 月 26 日

当事者視点のケアって何だろう？

レビー小体型認知症サポートネットワーク富山^{注1}

第 29 回研修会&交流会を開催いたします

今回の研修会&交流会では、「認知症の人と家族の思いにふれあうハンドブック」^{注2}を元に参加者がレビー小体型認知症の人と家族のケアを振り返る機会とします。また、当事者視点のケアについて参加者同士で語り、意見を共有することで相互理解を深め、日々の生活やケアに活かす場とします。

- 1 日 時 令和 6 年 8 月 3 日(土)14 時 00 分～15 時 30 分
(15 時 30 分以降は参加自由の交流会・個別相談会を開催します。)
- 2 場 所 富山県立大学 富山キャンパス 教育棟 4 階 405 看護学実習室
- 3 内 容 グループに分かれて話し合い～日頃のケアの振り返り等～
- 4 参加者 認知症のご本人やご家族、専門職者等どなたでもご参加いただけます。
(申込方法等は、別紙チラシのとおり)
- 5 その他 取材を希望される場合は、事前に上記担当者までご連絡ください。

注1)「レビー小体型認知症サポートネットワーク（略称、DLBSN）」とは・・・

2008 年に発足した家族会「レビー小体型認知症家族を支える会」の後継組織であり、全国 19 エリアで活動しています。アルツハイマー型認知症に次いで 2 番目に多いと言われる DLB について、本人や家族だけでなく、専門職者、一般の方々も含めて、病気やケアについて学び、情報共有しながら支え合えるよう取り組んでいます。

注2)「認知症の人と家族の思いにふれあうハンドブック」とは・・・

N T T データ経営研究所が、認知症当事者 77 人の声を集約して制作したハンドブックです。厚生労働省令和 5 年度老人保健健康増進等事業「認知症の人や家族の心理的・社会的サポートに関する調査研究事業」の一環で作られたものであり、当講座の木谷尚美教授（DLBSN 富山メンバー）が協力しています。